

様式第3

会 議 録

会 議 名	令和元年度第2回野田市行政改革推進委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び 検討について(公開)
日 時	令和2年1月28日(火) 午後1時30分から午後2時30分まで
場 所	市役所高層棟8階 大会議室
出席者氏名	会 長 山本和也 副会長 田中かよ子 委 員 江原正子、小松栄、染谷よし江、津佐清、中 野祐三郎、谷田貝しづ子、山崎清、横川しげ 子 事務局 山下敏也(自然経済推進部長)、中村正則(み どりと水のまちづくり課長)、寺田誠(みどり と水のまちづくり課主幹)、渡邊宏治(行政管 理課長)、大久保崇雄(行政管理課長補佐)、宮 山誠(行政管理課長補佐)、平出知之(行政管 理課事務管理係長)、島津奈身(行政管理課事 務管理係主任主事)、古谷尚久(行政管理課事 務管理係主任主事)
欠席委員氏名	無し
傍 聴 者	無し
議 事	第2回野田市行政改革推進委員会の会議結果(概要) は、次のとおりである。

<p>行政管理課長補佐</p>	<p>令和2年1月28日午後1時30分、開会を宣言し、会議の成立について報告した。会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。</p> <p>会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。</p> <p>議題 一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について</p>
<p>山本会長</p>	<p>一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について事務局の説明を求めた。</p>
<p>自然経済推進部長</p>	<p><資料に基づき、一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について説明></p>
<p>自然経済推進部主幹</p>	<p><資料に基づき、一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について追加説明></p>
<p>山本会長</p>	<p>一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について質疑及び意見を求めた。</p>
<p>山崎委員</p>	<p>資料を見ると令和2年度以降の経営見通しについて、経営の基盤となる入場者数は直近2年度の水準を維持するものとして今後9年間の見通しを試算している。</p> <p>しかし、ゴルフ業界は現在厳しい状況にある。これまで支えていた高齢者や団塊の世代が健康寿命を迎え、ゴルフをリタイアする傾向があり、ゴルフ人口は減っていくのではないかと懸念される。このように二つの大きな要因を踏まえると今後の入場者数について、今後9年間という長期的な見通しで現状維持ではなく、もう少し厳しい方が良いのではないかと。その上で経営の見通しについても、入場者数が1割以上減少する可能性も大きいと思われるため、様々な見通しを考え、もう少し厳しく想定した方が良いのではないかと。</p>
<p>自然経済推進部長</p>	<p>ゴルフ人口が減少している中で、ジュニア層を取り込むために各種事業等を行っているがそれほど集まらない。</p>

山崎委員

津佐委員

自然経済推進部長

一方、ゴルフ人口の高齢化に伴い、けやきコースについて開場時はコースが短くてつまらないとの声が多かったが、ちょうど良い広さと言われるようになったということもある。単純にゴルフ人口の減少だけで考えると見通しが暗くなるが、他のゴルフ場利用者の方々を取り込むことで現状維持若しくは増加も見込めると考えている。また、料金の改定等も検討し入場者数を落とさないよう努力したいと考えている。

利用料金の改定は集客や利益に直接影響するものであるため、より慎重に検討した方が良い。

客観的に考えて、少子高齢化によりゴルフ人口が先細りになることは間違いない。そのため、パブリックゴルフ場を公益事業として認めるのか収益事業として認めるのかという基本的な在り方を明確にする必要がある。

大都市の近隣に位置しているため、市のゴルフ場は地理的に有利である。しかし、ひばりコースについては今回の台風などの自然災害が日常的に起こりうる状況を踏まえると経営努力や合理化だけでは解決できない問題がある。

平成30年度のけやきコースは一日平均119人の入場者がいた。18ホールのゴルフ場は一日40から50組くらい入れているのが基本なので40組は確保したいが、けやきコースは1組3.5人で試算すると34組しか入っていないことになる。一方、ひばりコースについては入場者数が一日170人くらいなので限界に近い。けやきコースは余裕があり、いつでも入場できる状況と考えられるため、それを改善しなければならない。他のゴルフ場では入場者の大多数がコンペだが、けやきコースのホームページを見るとコンペ情報が圧倒的に少ない。そのため、市内自治会などの団体に対し広報活動を行い、コンペを増やしたら良いと思う。

ひばりコースは2サム保障割増料金を頂いているが、けやきコースについては頂いていないので2、3人で回る方がいる。そのため、満員にならないことも

	<p>事実であり今後対応を検討したい。</p>
津佐委員	<p>現在、営業職の臨時職員を一人雇用しているが、会社やゴルフ練習場を中心に営業させているので、視点を変えて自治会等も視野に入れて営業活動を進めたい。また、ホームページ内のコンペ情報の充実についても検討したい。</p> <p>資料13ページに入場者数の推移と予測があるが、ひばりコースは昭和61年から平成7年8年頃まで約7万人であり、けやきコースはオープンして間もない平成9、10年は約5万人となっており、現在と比べると多いのはなぜか。また、ひばりコースは平成10年くらいから急激に減少し、けやきコースも平成14年くらいから減少している。ただ、平成28年くらいからは少し回復している。これまでの経緯の総括などは行っているのか。また、これらの増減について何か特別な理由があったのか。</p>
自然経済推進部主幹	<p>平成5年頃はゴルフブームで景気も良く、その後バブルが崩壊し景気が悪化したことと当時の経営努力が足りなかったことが理由であり反省している。また、平成28年度以降の入場者数の改善の理由は、一般財団法人に変わったときに市が支援を強化したことと開発協会も立て直しに向け努力したためである。</p>
津佐委員	<p>景気を理由とした説明ができない問題かと思う。ひばりコースの入場者数が年間7万人を超えるということは一日当たりでは200人を超える。現在は一日当たり170人でほぼ満員かと思うが、あと30人以上もどのようにして入場させたのか。何か現在とは異なる方法があったのではないか。</p>
自然経済推進部長	<p>ゴルフブームもあり、ひばりコースの入場者数は最大で年間7万人を超え最大で一日当たり240人くらいあった。そのときはアウトやインで2、3時間も待たせたこともあり、これは詰め込みすぎであったと考えている。現在は200人弱が適正な人数ではないかと考えている。</p>
津佐委員	<p>入場者数を確保するには、やはりコンペの開催が必要である。既存のコンペを年2回から3回に増やすこ</p>

	<p>とで入場者数はある程度見込めると思う。</p> <p>また、若年層を取り込むという視点から考えると、市のパブリックゴルフ場に限らず土日の料金が高いことが問題と考えるため、収益率と勘案しながら検証してほしい。</p>
山崎委員	<p>経営状況を見ると財政支援が手厚く行われている。一般財団法人化以降は経費削減などの一方で、市の支援策が行われているが市の厳しい財政状況の中で今後もこのような支援が継続的に期待できるのか。また、今後の見通しが狂ったときはどうするのか。</p>
自然経済推進部長	<p>残ってほしいとは思いますが、ゴルフ場がとう汰されていく中でパブリックゴルフ場がどのようにして生き残っていくか。もし、生き残れなかったときはどうするのか。資料の中で、一般財団法人に移行して2年連続して純資産が300万円を下回った場合には即解散とあるが、解散したときの野田市の負債額はどのくらいになるのか。</p>
山崎委員	<p>解散になった場合には、長期借入金の償還残額は市の損失補償で借入れを行っているので市が負担しなければならない。その額は8億4,440万円になる。</p>
山崎委員	<p>例えば、ゴルフ場は地権者から長期契約で土地を借りているため、解約時の地権者への損失金なども発生すると思われる。それゆえ、清算したときの市の負担は長期借入金の償還残高である約8億円以外にも発生し、相当増えるのではないかと。それを踏まえると、経営が厳しいと言いつつも継続せざるを得ないのではないかと。何年か先を見越して長期的にソフトランディングさせる考えも経営には必要かと思うのでそのような考え方も取り入れていただければと思う。</p>
自然経済推進部長	<p>補足説明として、パブリックゴルフ場はけやきコース、ひばりコースともに野田市スポーツ公園として都市計画決定されており簡単に閉鎖はできない状況にある。また、けやきコースは最終処分場の埋立地だった経緯があり、簡単に地権者に返却することはできず跡地利用を考えなければならない。さらに、けやきコース建設時には市民の皆様の了承を得た上でパブリ</p>

津佐委員	<p>ックゴルフ場の建設に至った経緯があるため、それも酌み取って継続していきたいと考えている。</p> <p>ここ2、3年の動きでどのようにして集客を生むのかという見通しが出てきている。また、収益と売上げのために、どういったことが良いのか考えていけば、更に3、4年は見通しを立てることができる。市民の憩いの場としてゴルフ場は悪いことではないと考えるので続けてほしいと思う。</p>
谷田貝委員	<p>先ほどの営業の話にあったように自治会等への営業も必要だが、ゴルフ場主催のコンペがあっても良いのではないか。それは経費が多く掛かるものなのか。</p> <p>他のゴルフ場ではコンペを以前は年に1、2回しか開催していなかったが、現在は年に5、6回行っており、理由を付けて人を集めてコンペを行っている。そして、それらは特別安いわけではないのに満員となっている。</p> <p>市のパブリックゴルフ場も、例えば「鈴木貫太郎杯」や「関根金次郎の誕生日コンペ」などの名前を付けて市のコンペを主催し人を集めることも必要と思う。</p>
自然経済推進部長	<p>けやきコースは会員を対象とした定例会を毎月開催するとともに、昨年は市民大会も開催した。そのような大会を何回も行うことができれば入場者数が増えるものと考えており、今後検討していきたい。</p> <p>なお、現在はひばりコースがクローズしているため、その分けやきコースに流れているのか一日150人ほどの入場者がいる。今後、ひばりコースが再開すればそこまでは入らないと思うので、集客については再度検討していきたいと考えている。</p>
山本会長	<p>一般財団法人野田市開発協会の経営状況の評価及び検討について、事務局の説明を了承することで良いか問う。</p> <p><異議無し></p>
山本会長 行政管理課長 山本会長	<p>その他、連絡事項の有無を事務局に問う。</p> <p><子ども部の設置の延期について報告する></p> <p>午後2時30分、閉会を宣言した。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>